



ZENRIN

2024年1月25日

光市
株式会社ゼンリン

山口県光市とゼンリン 地域の移動利便性向上を目指し 「光市 予約制乗合タクシー」の実証実験を2月1日(木)より開始

光市(山口県光市、市長:市川 熙)と株式会社ゼンリン(福岡県北九州市、社長:高山善司、以下「ゼンリン」)は、2024年2月1日(木)から3月1日(金)の期間、光市内の一部地域を対象に「予約制乗合タクシー」を運行する光市AIデマンド型交通導入実証実験事業を実施します。



■「予約制乗合タクシー」実証実験 実施の背景

山口県光市では、光市地域公共交通計画の施策の一つとして、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、路線バスの運行をしていない地域やバス停等までの移動が困難となる地域において“地域内交通の拡充”を掲げています。このたび、AIを活用したデマンド型交通システムの導入業務をゼンリンへ委託し、AIにより配車ルートが可能な予約制乗合タクシーを地域内に運行させ、地域住民の移動ニーズの変化への対応及び移動の利便性向上、そして交通事業者への影響等について検証する実証実験を実施します。

■「光市予約制乗合タクシー」概要

サービス名	光市予約制乗合タクシー
運行システム	スマート・デマンド交通システム (開発:株式会社メタ・イズム)
運行期間	2024年2月1日~2024年3月1日 (午前9時~午後4時/毎日運行)
利用可能エリア	光市内一部地域 (三井/上島田/周防地区全域)
対象者	利用可能エリア内に居住中の方 (事前に利用者登録が必要)
乗車料金	大人(中学生以上):1乗車 300円 小人(小学生以下):1乗車 150円 <small>※障害者手帳のご提示で、利用者及び介助者1名の料金は各々150円となります。</small>
運行会社	周南近鉄タクシー株式会社

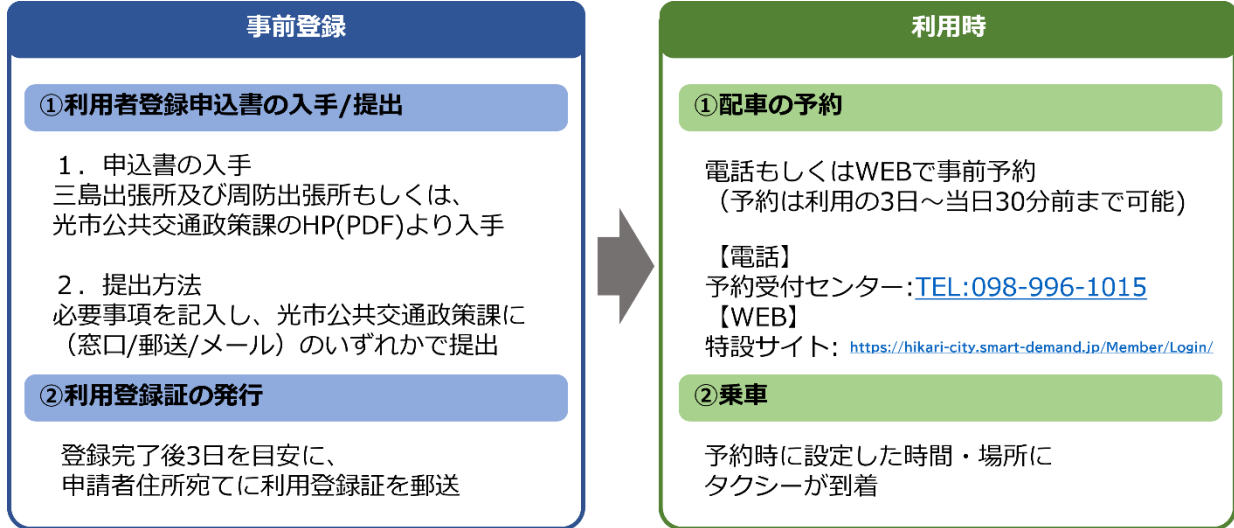


利用可能エリア

■実証実験 各者の役割

光市	実証主体 光市予約制乗合タクシーの運用
ゼンリン	実証実験全体統括

■「光市予約制乗合タクシー」利用方法



■ゼンリンの詳細な住宅地図データで、ラストワンマイルを支援

ゼンリンは日本全国約 70 拠点の調査網を活かし、現実世界を構成するあらゆる情報の収集・整備を行っており、住宅地図情報は、物流・防災など、創業以来多くの業種・業界で利用されてきました。また、近年では MaaS やドローン物流、観光振興等のビジネスも展開しており、地方公共団体と共に地域創生や地域課題の解決を目指す取り組みを日本全国で提案・実施しています。



「光市予約制乗合タクシー」では、受付システムや車載システムにて、ゼンリンの住宅地図データが採用されています。住宅の詳細な位置を把握することで、ラストワンマイルにおける最適な運行を支援します。

■実証実験後の予定

30 日間の実証実験で得られた各種データの分析を行い、光市におけるデマンド型交通の適性や今後の導入について検討を行います。